

船舶事故調査報告書

平成22年11月4日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成22年7月25日（日） 16時30分ごろ
発生場所	福岡県芦屋町芦屋海岸沖 芦屋港北防波堤灯台から真方位214° 1,300m付近 （概位 北緯33° 53.6′ 東経130° 38.5′）
事故調査の経過	平成22年7月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ^{ウェイブ セプター} Wave Ceptor、5トン未満 290-51592福岡、個人所有 6.89m (Lr) × 2.57m × 1.35m、FRP ディーゼル機関（船内外機）、62.52kW、平成10年7月
乗組員等に関する情報	船長 男性 47歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成11年5月7日 免許証交付日 平成20年9月8日 （平成26年5月6日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	アウトドライブ取り付け部破損、浸水による機関の濡れ損
事故の経過	本船は、船長ほか同乗者3人が乗船し、船首約0.3m、船尾約1.0mの喫水で、ウェイクボードをえい航しながら、芦屋海岸沖を約30km/hの速力で遊走中、平成22年7月25日16時30分ごろ、転倒したウェイクボーダーに左旋回して近づこうとしたところ、潜堤に乗り揚げ、これを乗り切った。 本船は、アウトドライブ取り付け部が破損して浸水したため、船長が118番通報を行い、福岡県水難救済会芦屋救難所所属漁船にえい航救助され、芦屋漁港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風速 約1～2m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期
その他の事項	船長は、過去にも芦屋海岸沖でウェイクボードを行ったことがあり、海中に黒いものがあることは知っていたが、周囲と同様に約2～3mの水深があると思っていた。 船長、同乗者及びウェイクボーダーは、全員救命胴衣を着用していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、ウェイクボードをえい航しながら芦屋海岸沖を遊走中、船長が、潜堤の存在を知らなかったことから、転倒したウェイクボーダーに旋回して接近しようとした際、潜堤の上を航行して乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、ウェイクボードをえい航して芦屋海岸沖を遊走中、船長が、潜堤の存在を知らなかったため、潜堤の上を航行して乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	